

ブロッコリー製氷搬氷設備が竣工式を迎える



県下最大級の製氷施設!

セルリーに次ぐ基幹品目とされるブロッコリーを、高品質で市場へ供給し諏訪ブランド産地競争力の強化を図り生産農家の所得を確保するために、信州諏訪農業協同組合では製氷搬氷施設を改修しました。村長は、ブランド化し消費されるようになれば嬉しい、50億円の生産出荷を取り戻す一端を担ってほしいと述べました。

平出副村長の退任(7月31日)

7月31日役場講堂において平出攻進副村長の退任式が行われました。平出副村長は昭和36年に入庁。平成13年1月より収入役、16年からは助役・副村長として、6年半にわたり村政の発展に尽力されました。▶広報はら第1号(昭和45年発行)の担当者でした。

なっちゃんのワクワクセロリ通信 その③
~小池奈津@役場総務課の街角interview~

世界ジュニアペタンク選手権出場(7月13日~15日)

ペタンクの世界選手権(会場・諏訪市)に出場した平出悠太さん、平出知布味さんと、サポーターの平出真結香さんにお話を伺いました。(結果→予選突破後、一次リーグ敗退。)

Q. 将来の夢は?

A. (悠)もし将来、ペタンクがオリンピックの正式種目になったら、その代表選手になりたいです。(知)一般の部に出ても日本代表として活躍していきたいです。(真)今回の大会には出場できなかつたので、次の大会には出場できるように頑張って練習したいです。



はらむらとびっくす

第10回 中学校海外ホームステイ
平成19年3月19日~30日

▲プケコヘインター・メディエートスクールの生徒と共に

原村の国際化を推進し、国際社会に貢献できる人材の育成を目的に、姉妹都市ニュージーランドプケコヘ区で中学生10人がホームステイを行いました。

今回は、マオリの集会場での文化交流、サマーフィールズ牧場での動物との触れ合いなどにより、綿密な交流が図られ、相互の文化に対する理解が深まりました。



▲フランクリン市庁舎にてマークポール市長と

フランクリン市には2,109平方キロメートルに56,500人の人が住んでいます

ホームステイの引率者として、原村役場職員・田中隆治団長、原中学校の藤代あけみ先生の2人がフランクリン市庁舎を訪れ、マークポール市長と友好都市交流について話し合いました。その中で、マークポール市長から「今年の9月上旬に原村を訪れたい」との希望が伝えられました。大変多忙な市長さんですが、訪問が実現するよう村づくり戦略推進室で連絡を取り合っていきたいと思います。

今年は、9月下旬にプケコヘインター・メディエートスクールのグリースウニー校長先生が原村を訪問、11月には原村の大人(10人程度)がニュージーランドを訪問する計画(テ・ハエレンガプロジェクト=マオリ語で様々な交流)があります。IT技術の発達とともに経済も国際化し、地球の裏側の農作物の作況が原村の野菜価格を左右する時代になりました。今後は、教育交流だけでなく、文化及び産業の交流も実施し、国際経済の中でも進歩する原村の産業をと思います。

常任委員会の構成(平成19年5月10日現在)

職名	委員会	総務産業 常任委員会	社会文教 常任委員会
委員長	小池 啓男	小池 和男	
副委員長	小平 雅彦	五味 武雄	
委 員	矢島 昌彦	菊池 敏郎	
委 員	日達 徳吉	長谷川 寛	
委 員	小池 利治	小林 庄三郎	